

議会だより



主な内容

- ◆決算の状況について……………4ページ
- ◆インターネット放映がスタート……………7ページ
- ◆市政を問う、一般質問……………8ページ

■今号の表紙■

平成24年1月8日、飫肥本町河原で開催された、日南市消防出初式における一斉放水の様子です。

《発行者》
宮崎県日南市議会 平成24年2月1日発行
〒887-8585 日南市中央通一丁目1-1
電話：0987-31-1142（直通）
FAX：0987-31-1778（直通）

**一般会計補正額
3億4,200万円**

第7回定例会開催

補正予算などを可決

平成23年第7回定例会は、平成23年11月28日から12月16日の22日間開催されました。

市長提出議案及び議員提出議案あわせて52件を審議しました。（審議結果につきましては、6ページの「審議結果一覧」をご覧ください。）

報告

■専決処分の報告について

市営住宅家賃の滞納者への支払い等を求める支払督促の申し立てに対し、異議申し立てがなされ、民事訴訟法第395条の規定により訴訟事件へ移行したことに伴い、訴えを提起することについて専決処分したものです。

■専決処分の報告について

市道大手横馬場通線の道路上で、車道敷きに張り出している駄肥杉に、走行していた自動車が接触し、損傷した事故に関し、損害賠償の額を定めることについて専決処分したものです。

■専決処分の報告について

市道曙通線車道上の車線分離標の不全により、歩行者がボルトにつまづき転倒し、負傷した事故に関し、損害賠償の額を定めることについて専決処分したものです。

条例

■行政組織の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

行政組織の見直しについて、総合計画の施策体系との整合性を図り、機動性、柔軟性及び効率性をもった組織を構築するため、部及び課の名称等について所要の改正を行うものです。

【主な改正内容】

日南市行政組織条例の一部を改正し、新たに「福祉部」を創設します。（平成24年4月1日施行）

■日南市立保育所条例の一部を改正する条例

平成25年4月より油津保育所及び桜ヶ丘保育所の移転統合並びに民営化に伴い、所要の改正を行うものです。



現在の桜ヶ丘保育園

■日南市山村定住住宅の設置、管理及び譲渡に関する条例の一部を改正する条例

山村定住住宅の一部を入居者に譲渡するため、その住宅の用途を廃止することに伴い、住宅名等について所要の改正を行うものです。



譲渡されるフォレスト吉野方

■日南市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例

人事院勧告に準じて、一般職の職員の給料表について所要の改正を行うものです。

【主な改正内容】

・給料を平均0.2%引き下げます。



補正予算の概要

今回の補正額は、3億4200万円、補正後の予算総額は2億655700万円となっております。

補正の内容につきましては、国県補助金等を伴う経費をはじめ、防災行政無線等の移設にかかる経費、人事院の給与勧告及び職員の人事異動等による人件費の調整、退職者の増加に伴う退職手当の追加などとなっております。

種子島周辺漁業対策事業

(274万9千円)

漁具搬出入時の利便性や作業の効率化とともに、漁具の延命化を図るため、老朽化している大堂津漁港漁具倉庫の修繕工事に対し、助成を行うものです。



改修予定の漁具倉庫

防災行政無線管理費

(913万5千円)

地震発生等の大規模災害に備え、市民や県などとの緊急通信手段である防災行政無線等の機器を、耐震性の高い保健福祉総合センターへ移設するものです。



移設予定の防災無線機器

東九州自動車道整備促進事業

(470万円)

東九州自動車道の建設に伴う多量の建設発生残土の受け入れ用地として、道の駅「酒谷」駐車場付近の測量等調査を行うものです。

議案に付言された主な要望

議案第76号 行政組織の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例

〔総務文教委員会〕

会計管理者について、当局の説明によると平成24年4月から総務部長が兼務すること。地方自治法上の会計管理者の職務権限を見てみると、会計管理者は、独自の権限を有し独立性が保たれるよう規定されて

いる。

会計管理者を一般の部長が兼務した場合、当該部局における事務について命令機関と会計機関の分離が不明となり、適正な会計事務の執行の確保に支障を来す恐れがある。従って、総務部長兼務は違法ではないが、適当ではないと判断するので、適正な人事辞令行為をされるよう苦言を呈するとともに、改められるよう要望する。

議案第79号 日南市大藤河川公園ファミリスポーツランド条例等の一部を改正する条例

〔総務文教委員会〕

今回の改正は各施設の使用料の平準化を図ったことで一部の使用料で3倍以上になったケースが見受けられた。今後、見直される場合は、段階的に調整をしたり、事前に各団体等から意見を聞く場を設け、各方面の意見を聞いて改正されたい。

その他の付言

工事発注時の業者指名及び下請けについて

〔総務文教委員会〕

業者指名については、可能な限り早い時期に、旧行政区域の地域エリア指名基準を見直されるよう努力されたい。

下請けについては、建設業法に基づき適切に処理されていることと思うが、下請けに出さなくても対応できる市内の業者指名を検討されるときに、下請けに出す場合は市内業者に優先的に発注できるように要望す

る。

市立中部病院について

〔厚生委員会〕

市立中部病院の運営については、日頃から医師確保などに精力的に取り組んでいただき、感謝申し上げます。今後も引き続き医師確保に向け全力を挙げていただくとともに、情報の共有化を図るため、必要に応じ経営検討委員会での協議内容などを可能な限り、報告いただきたい。

所管事務調査

建設水道委員会では、去る10月20日に市営住宅（楠原、かほと）を、去る12月22日に地域振興対策調査特別委員会と合同で東九州自動車道芳ノ元トンネル及び市道富士郷之原線の視察を行いました。

現地では、担当者から事業の内容等について説明を受けました。



4,279万4千円

平成22年度の決算審査につきましては、議長及び議会選出監査委員を除く議員で構成する、決算審査特別委員会を設置し、審査を行いました。

審査の結果、賛成多数をもって平成22年度決算を認定しました。

決算の状況については、下記のとおりとなっております。

一般会計決算の状況

(単位:千円、パーセント)

区 分	平成22年度	平成21年度	増 減 額	増 減 率
歳 入 総 額 A	28,116,295	27,065,410	1,050,885	3.9
歳 出 総 額 B	27,242,794	26,517,840	724,954	2.7
歳入歳出差引額 A-B C	873,501	547,570	325,931	59.5
翌年へ繰り越すべき財源 D	169,866	127,039	42,827	33.7
実 質 収 支 E C-D	703,635	420,531	283,104	67.3
経 常 収 支 比 率	92.0	96.3	—	△4.3
実 質 公 債 費 比 率 (3か年平均)	15.7	17.0	—	△1.3

※平成22年度決算の各表については、「地方財政状況調査」の数値をもとに作成しています。

特別会計決算の状況

(単位:千円)

区 分	歳 入	歳 出	差 引
国民健康保険	8,874,358	8,230,861	643,497
老人保健	12,737	12,737	0
後期高齢者医療	669,287	664,949	4,338
介護保険	5,280,084	5,220,344	59,740
簡易水道	233,729	225,426	8,303
大島簡易水道	2,095	1,645	450
農業集落排水	44,327	42,327	2,000
漁業集落排水	30,102	27,658	2,444

一般会計



歳出

272億



281億1,629万5千円

企業会計決算の状況

(単位:千円)

区分	病 院 事 業		水 道 事 業		下 水 道 事 業	
	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支	収益的収支	資本的収支
歳 入	1, 142, 083	25, 049	856, 466	213, 909	771, 501	903, 783
歳 出	1, 148, 397	135, 510	887, 123	470, 690	764, 875	1, 197, 041
差 引	△6, 314	△110, 461	△30, 657	△256, 781	6, 626	△293, 258

※下水道事業については、公共下水道事業会計及び特定環境保全公共下水道事業会計の合算です。

※病院事業、水道事業、下水道事業の資本的収支の不足額は、損益勘定留保金などでの補てんがなされており、現金収支における損失はありません。

(損益勘定留保資金とは、減価償却費など、現金支出を必要としないものを費用に計上することによって留保される資金のことです。)

決算審査特別委員会の報告

付言した主な意見・要望等

・健康増進事業について、各種検診等については、疾病等の早期発見による健康増進及び医療費の抑制等の観点から、さらなる受診率の向上につながる施策の展開に、努力されたい。

・ふれあいいきいきサロン支援事業について、事業効果が大きいにもかかわらず、予算措置額が少ないことから、関係機関等と協議の上、支援体制を見直し、今後積極的にこの事業に取り組まれたい。

・病院事業について、経営検討委員会の検討結果については、必要に応じ、定期的に議会へ報告されたい。

・下水道については、なかなか整備が進んでいない状況であるが、市街地における未認可区域については、できるだけ早急に認可され、整備が進められるよう努力されたい。

・水道事業について、施設の老朽化に伴う経費など、施設整備に係る経費全体に関連して、今後の施設等の整備においては、耐震化にも考慮し、整備されたい。特に、配水池の耐震化については、早急に取り組まれたい。

審議結果一覧

平成23年第7回定例会（H23.11.28～H23.12.16）の審議結果

番 号	議 案 名	審 議 結 果	結 果
		委 員 会	本 会 議
報告第14号	専決処分の報告について	—	終 了
報告第15号	専決処分の報告について	—	終 了
報告第16号	専決処分の報告について	—	終 了
認定第1号	平成22年度日南市一般会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第2号	平成22年度日南市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第3号	平成22年度日南市老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第4号	平成22年度日南市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第5号	平成22年度日南市介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第6号	平成22年度日南市病院事業会計決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第7号	平成22年度日南市簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第8号	平成22年度日南市大島簡易水道特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第9号	平成22年度日南市農業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第10号	平成22年度日南市漁業集落排水特別会計歳入歳出決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第11号	平成22年度日南市公共下水道事業決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第12号	平成22年度日南市特定環境保全公共下水道事業決算の認定について	原案認定	原案認定
認定第13号	平成22年度日南市水道事業決算の認定について	原案認定	原案認定
議案第65号	平成23年度日南市一般会計補正予算（第3号）	原案可決	原案可決
議案第66号	平成23年度日南市国民健康保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決	原案可決
議案第67号	平成23年度日南市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第68号	平成23年度日南市介護保険特別会計補正予算（第2号）	原案可決	原案可決
議案第69号	平成23年度日南市病院事業会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第70号	平成23年度日南市簡易水道特別会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第71号	平成23年度日南市農業集落排水特別会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第72号	平成23年度日南市漁業集落排水特別会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第73号	平成23年度日南市公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第74号	平成23年度日南市特定環境保全公共下水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第75号	平成23年度日南市水道事業会計補正予算（第1号）	原案可決	原案可決
議案第76号	行政組織の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例	原案可決	原案可決
議案第77号	日南市一般職の職員の給与に関する条例等の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第78号	日南市議会の議員その他非常勤の職員の公務災害補償等に関する条例の一部を改正する条例及び日南市消防団員等公務災害補償条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第79号	日南市大藤河川公園ファミリースポーツランド条例等の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第80号	日南市立保育所条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第81号	日南市農業委員会の選挙による委員の定数及び選挙区の設定に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第82号	日南市栄松ビーチの指定管理者の指定について	原案可決	原案可決
議案第83号	日南市営住宅条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第84号	日南市山村定住住宅の設置、管理及び譲渡に関する条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第85号	日南市特別会計条例の一部を改正する条例	原案可決	原案可決
議案第86号	平成23年度日南市一般会計補正予算（第4号）	原案可決	原案可決
諮問第8号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	—	原案同意
議員提出議案第13号	小玉弘明議員に対する辞職勧告決議	—	原案可決
議員提出議案第14号	日南市議会委員会条例の一部を改正する条例	—	原案可決
陳情第4号	教育予算の拡充に関する意見書の提出を求める陳情書	継続審査	継続審査
陳情第8号	日南市の小中学校におけるむし歯予防のためのフッ化物洗口の実施に関する陳情書	採 択	採 択
陳情第9号	燃油高騰に伴う助成に関する陳情書	継続審査	継続審査
陳情第10号	消費税によらない最低保障年金制度の創設を求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第11号	無年金・低年金者への基礎年金国庫負担分3.3万円の支給を求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第12号	年金受給資格期間の10年への短縮を求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第13号	0.4%の年金引き下げをもとに戻すとともに、物価指数低下による年金引き下げを行わないことを求める陳情	継続審査	継続審査
陳情第14号	指定文化財に関する復元についての陳情書	継続審査	継続審査
陳情第15号	所得税法第56条の廃止を求める陳情書	継続審査	継続審査
陳情第16号	住宅リフォーム助成制度の復活を求める陳情書	採 択	採 択
陳情第17号	小規模工事等契約希望者登録制度の拡充を求める陳情書	採 択	採 択

市議会がもっと身近に！

インターネット放映がスタートしました

12月定例会から、ご家庭のパソコンからインターネット回線を利用して本会議のようすがご覧いただけるようになりました。

インターネット議会放映は、日南市議会のホームページからご覧いただけます。



インターネット議会放映のトップ画面です。本会議中は生中継で配信しています。また、議会終了後も録画したものを視聴することができます。（丸囲みの部分で、視聴したい本会議を自由に検索できます）

視聴の画面です。見やすいように全画面で表示したり、別ウィンドウ（下図）で表示したり選択することができます。



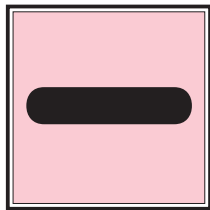
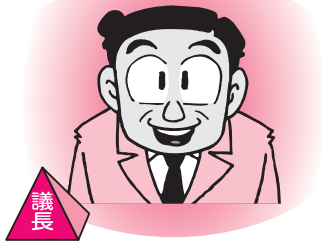
詳しくは、

日南市議会

検索

で検索してみてください

市政を問う!



一般

質

問

平成23年第7回定例会における「市政に対する一般質問」は、12月6日から9日までの4日間行われ、17人が個人質問に立ち、多岐の内容にわたり市の方針をたしました。

以下、登壇順に質問と答弁の要旨を掲載しています。

※質問や答弁について、要旨だけではなく詳細をお知りになりたい方は、日南市議会議会棟1階にある議会図書室にて「日南市議会会議録」を閲覧することができます。

また、日南市議会会議録は「日南市議会ホームページ」でも閲覧することができます。

詳しくは、日南市議会事務局（電話:0987-31-1142）までお尋ねください。

〈登壇者と質問項目〉

- | | |
|----------|---|
| ①倉岡郁夫議員 | 〔想定外の災害対応について、観光・地域振興について、ごみ減量化について、市道整備について、教育行政について〕 |
| ②坂口義弘議員 | 〔油津港ポートセールス・海外視察について、厚生委員会の視察を終えて、日南市ごみ処理計画について、北郷小中学校温水プール利活用について〕 |
| ③深川保典議員 | 〔「振徳教育」とは何か〕 |
| ④中尾貞美議員 | 〔林業の推進について、飼肥城歴史の編さんについて、地籍調査について、小村寿太郎侯没後100年での小冊子作成について、建設土木工事事業の推進について、ふるさと納税制度の利活用について〕 |
| ⑤杉富正議員 | 〔農業振興策について、TPP反対の大義について、旧日南振徳商業高校の利活用について、土木行政について、地域安全対策について〕 |
| ⑥松田謙一郎議員 | 〔漁船の放置について、藻場のその後は、中部病院の医師の確保は〕 |
| ⑦山田一議員 | 〔ごみ問題について、学校給食について、空き家対策について、スポーツ振興について、公園施設等の整備について〕 |
| ⑧福岡浩一議員 | 〔定住政策について、市長のトップセールスについて、医療・福祉について、雇用問題について、教育施設について〕 |
| ⑨磯江純一議員 | 〔公務員給与削減について、PFI方式による市営住宅建設について、ビオトープ（生物多様性）について、スポーツ振興策について〕 |
| ⑩井上進議員 | 〔交通網・交流体制の整備について、農林水産業・商工業及び観光の振興について、住環境整備について、第6回定例会での質問提言事項の進捗状況について〕 |
| ⑪坂元啓一議員 | 〔市長の政治姿勢について、栄松地区の高潮被害について、大阪府の教育基本条例構想について、ジャカラングのまちづくり構想について、水産特区構想について、NIE教育について、キャリア教育について〕 |
| ⑫林一彦議員 | 〔心の健康対策について、消防行政について、文化行政について、所得税法第56条について〕 |
| ⑬山本定則議員 | 〔安全で安心なまちづくりについて、健康関係について、漁業問題について、環境問題について、中部病院について〕 |
| ⑭黒部俊泰議員 | 〔防災について、日南市総合計画について〕 |
| ⑮前田幸雄議員 | 〔フッ化物洗口の取り組みについて、うつ病対策について、子ども議会について〕 |
| ⑯井福秀子議員 | 〔福祉有償運送について、小規模工事等契約希望者登録制度について〕 |
| ⑰和足恭輔議員 | 〔家庭用太陽光パネル発電システムの普及促進と自然エネルギーのまちづくりについて、住宅リフォーム助成制度について、子牛価格補てん支援策など、畜産農家への市独自の支援策について〕 |



改政クラブ
倉岡 郁夫 議員

想定外の災害対応について

(問) 近畿地方で起きたような深層崩壊や土石流災害が発生したとき、市内に何カ所の孤立集落が予想されるか。

(答) 災害の規模や発生場所によって違ってくるものの、集落を通る道路の両端で土砂の崩落があり、通行不能となり孤立する可能性のある集落は、山間部と沿岸部を合わせて24カ所を想定している。

(問) 情報伝達や電力確保の手段として、衛星携帯電話や発電機が非常に効果的だったと聞いているが、市内に何カ所配備されているか。

(答) 衛星携帯電話は、本庁に1台、消防本部に1台、北郷総合支所に1台また、発電機については、本庁や各総合支所、鶴戸支所、各消防団格納庫に配備している。

(問) 日南ダムと広渡ダムの耐震強度は万全か。

(答) ダムは大規模かつ重要な構造物であることから、地震に対しても十分な安全性が確保できるように、国が定めた設計基準により建設されている。また、東日本大震災後の国土交通省による東北地方のダム臨時点検の結果においては、安全性に直ちに影響するような被害は一件も発生していないとの報告であった。

地域医療が抱える問題について

(問) ジェネリック医薬品への切り替えについて市はどう対応するのか。

(答) 切り替えが進むと、患者の自己負担額の軽減や保険財政の改善が期待される。使用促進の取り組みを医療費適正化対策の大きな柱に位置づけ、薬剤師会など関係機関との連携を強化しながら積極的に進めていきたい。

(問) 中部病院経営努力、医師配置はどうなっているか。

(答) 経営状況は、好転はしてきたものの医師の不足により厳しい状況である。常勤医師であるリハビリテーション科、内科の医師より退職願が提出された。最近、2名の医師と面談をしたが、確保には至っていない。県や宮崎大学への派遣依頼を行っている。医師の確保が厳しい状況である。

北郷小中学校温水プール活用について

(問) 温水プールは、どのように利用開放を図っていくのか。

(答) 温水プールの開放を行う場合、利用時間及び使用料の設定等、条件整備が必要である。また学校施設であるため、一般開放となれば管理者を置く必要がある。施設の使用申込窓口や、設備運轉の管理体制の構築、条例の整備等も必要となってくる。教育委員会は、関係各課と協議を行い、平成24年度の開放に向け検討を進めていく。



改政クラブ
坂口 義弘 議員



無会派
深川 保典 議員

「振徳教育」について

(問) 平成23年度に本市では110名の小中学生が市外に転出した。理由としては、学力向上について日南では不安なためと思われるが、対策はあるか。

(答) 転出の理由は、一概に学力の面だけが要因ではないと考えている。今後も魅力ある学校づくりに努めていく。

(問) 子ども議会を活性化するため、再質問を認めたり、各委員会を設けるべきと考えるがどうか。

(答) 委員会の設置は今後の検討課題だと認識している。再質問については、時間の許す範囲内で認めていくよう見直しを検討する。

(問) 「全国藩校サミット」を日南で開催する考えはないか。

(答) 誘致を含めた情報発信等について今後研究していく。

(問) テクノセンター、旧農林高校、旧振徳商業高校及び県高等水産研修所等を活用し市立大学を創設できないか。

(答) 教育課程及び施設整備や財務状況などを整える必要があり、現在の日南市では不可能である。

(問) 旧飯田医院の存続方法についてどのように考えているか。

(答) 土地・建物を寄付していただいた場合、「歴史的風致維持向上計画」認定申請の中で位置付けたい。

林業の推進について

(問) 飫肥杉材の価格安定策は打ち出せないか。

(答) 国において「森林経営計画」の策定を条件に、作業道や除間伐などの助成を行うとしている。

飫肥城歴史の編纂について

(問) 伊東家の家老山田家の家譜書「山田三代功記」が出てきたが、現代文に直すのに、該当する事業はないのか。

地籍調査について

(問) 酒谷地区はいつ頃実施されるか。

建設、土木工事の事業の推進について

(問) ランクは県工事と市工事では同じにならないのか。

(答) それぞれの要綱に基づきランクわけをしており、統一するのは困難である。

(問) 指名業者は、旧市町ごとに分けて指名しなければならないのか。

(答) 当分の間は、旧行政区での業者選定をして欲しいとの要望を受け指名している。

(問) 仮屋橋の今後の工事予定について、早く施工されるべきではないか。

(答) 来年度からの実施に向け、準備を進めている。



改政クラブ
中尾 貞美 議員



新生日南会

杉富 正 議員

農業振興策について

(問) 今後の日南型農業をどう捉えているのか。

(答) 5年後には、さらに高齢化が進行し、農家戸数の減少に拍車がかかるものと大変危惧している。

(問) 地産地消をどう考えているのか。

(答) 学校給食も、地元生産者やJ Aをはじめとする関係団体、市などと連携を図りながら、可能な限り地場産物の割合を増やせるよう努力する。

(問) 農作業事故防止の対策は何か。

(答) 本年度は、8月の農作業死亡事故を受け、関係機関と連携して安全講習会を開催し、安全の強化を図った。

TPP反対の大義について

(問) 歴史的蛮行が強行されようとしているが、農業をどう守るのか。

(答) 政府は、国民的議論を十分に行わないまま交渉への参加表明に踏み切った。大変遺憾であり、憤りさえ覚える。今後も引き続き要望を続ける。

旧日南振徳商業高校の利活用について

(問) 消防本部の移転はどうするのか。

(答) 10月に関係自治会に出向き、説明して理解を得た。計画通り進めたい。

地域安全対策について

(問) 悪質な犯罪に対する対策は何か。

(答) 防犯パトロールを強化し、歯止めをかける。

漁船の放置について

(問) 外浦港にカツオ船が放置してあるが、景観も悪く、みっともないので、県との協議を行い、業者を特定し指導してはどうか。

(答) 油津港湾事務所、海上保安部と再三の協議が行われているが、いまだ解決に至っていないのが現状であり、今後も引き続き県などに早急な撤去をお願いしていきたい。

藻場の育成について

(問) 前年議会の中で藻場の件を質問したが、その後の対応はどうなのか。

(答) 藻場の回復保全は、沿岸漁業の振興のためにも重要なので、引き続き支援をしていく。

中部病院の医師確保について

(問) 来年2月に内科医が退職されると、内科医がいなくなるが、今後の医師確保の見通しはどうなっているのか。

(答) 医師確保の状況については、これまで宮崎大学の医局への派遣依頼、県福祉部長へ協力の依頼をはじめとして様々な方法により、医師確保の活動を行い、今年3月から今日まで十数人の医師と面談を行った。その中で2人の医師の感触が良く期待しているが、今後も医師確保に努めていく。



新生日南会

松田謙一郎 議員



緑青会

山田 一 議員

ごみ問題について

(問) マナーの悪いごみステーションに防犯カメラ等の設置はできないか。

(答) 不適正なごみ袋等には、警告シールを貼るとともにごみ袋の中身を調査して、出された人に対し、面接指導や文書指導をするので、防犯カメラの設置は考えていない。

(問) 粗大ごみの収集、特に高齢者や体の不自由な方々に対しての戸別収集の継続はできないか。

(答) 現状を十分に考慮し内容を一部見直しながら、市民のニーズに応えられる事業として取り組んでいく。

空き家対策について

(問) 管理上問題のある空き家に対して「適正管理の条例」を制定するつもりはないか。

(答) 条例制定に向け、検討をする。

公園施設等の整備について

(問) 油津みなと児童遊園の整備はできないか。

(答) 油津地区のまちづくりを推進するなかで、周辺施設等の整備状況を見極めながら取り組んでいく。

(問) 津の峯登山道の整備はできないか。

(答) 展望台を含めた登山道整備については、地元住民・市民団体などの協力をいただけるような方法を研究する。

定住政策について

(問) 東九州自動車道北郷インターチェンジ開通を数年後に迎えて、北郷地区の人口増加を見越した定住政策は考えているか。

(答) インター周辺の土地利用は、人口増加に起因する可能性があるので、庁舎内検討委員会で議論する。

医療・福祉政策について

(問) 介護保険適用の有料老人ホーム病床が市内2施設から26床、市に返還されたが、来年度からの第5期介護保険事業計画で使用するのか。

(答) 来年度、施設職員の有資格者体制が整っている施設を対象に公募して、病床を決定する。

(問) ジェネリック医薬品の使用増加で医療費の抑制につながると思うが推進する考えはあるか。

(答) 国保医療費の低減につながると思う。薬剤師会等と連携して推進する。

(問) 医師不足などから中部病院の経営悪化が懸念される、市長の政治判断で整理すべきではないか。

(答) 医師確保に全力を注ぎ病院経営を安定化させる。

教育施設について

(問) 北郷小中学校の温水プールを市民に開放できないか。

(答) 来年度からの開放に向け検討する。



緑青会

福岡 浩一 議員



緑青会

磯江 純一 議員

12月1日から31日まで飲酒運転根絶運動月間に入っております。標語は、「かあちゃん泣くど、子どもが泣くど、飲んで乗ったら終りやど」であります。小玉議員いかがですか。あなたの行為を社会が許せるでしょうか。

公務員給与削減について

(問) 人事院勧告に準じて改正が行なわれているが、756万9147円の減額にしかならない。格差社会の観点から厳しく見直すべきではないか。

(答) 本市職員の場合、基本的に44歳以上298人の職員が対象で、総額756万9千円の影響額となる。なお、本市独自の給与削減については、市政創造計画を推進する中で、職員数の削減による総人件費の削減を優先したい。

ビオトープ(生物多様性)について

(問) 身近な所から、生物がすめる環境をつくるのが将来に対する私達の努めである。その第一歩として、桜ヶ丘区の七迫池を調査される考えはないか。

(答) 七迫池の調査については、今後、環境基本計画に基づきビオトープ管理士による研修会等を計画しており、その際に、現地確認という形で実施したいと考えている。

交通網・交流体制の整備について

(問) 県道益安平山線と平野線の広渡川に架かる長大橋の完成はいつか。

(答) 来年度以降に調査をして、その成果もとに、整備手法を検討する。

(問) JR日南線の線路敷きが傷んでいるが、安全性は確保されているか。

(答) JRでは列車巡視・徒歩巡視・高速軌道計測車により検測をし、安全性に万全を期し運行している。

農林水産業・商工業及び観光の振興について

(問) TPP参加の当市におけるメリット、デメリットはどうなるか。

(答) 地方においてはデメリットの方が多いと考える。

(問) 飲肥城観光駐車場の有料化は、飲肥城維持に必要ではないか。

(答) 関係者の意見を聞き、提案の時期を検討する。

住環境整備について

(問) 里道の市道条件を緩和しないか。

(答) 今後も、現行の要綱で定める基準を遵守していく。

(問) 市道の表面舗装予算を拡大せよ。

(答) 重要性を認識しており全体予算枠におけるバランスを勘案し検討する。

(問) 県立日南高校のメディカルサイエンス科設置についてはどうか。

(答) 県教育委員会と意見交換し理解を得た。



緑青会

井上 進 議員



無会派

坂元 啓一 議員

市長の政治姿勢について

(問) 来年度の予算編成にあたっての重点施策は何か。

(答) 具体的には、元気なまちづくりを目指して、産業の活性化、防災体制、健康づくり、教育、子育て環境施策の充実を優先した予算編成を行うよう指示した。

(問) 予算編成の中で、口蹄疫による影響を受けた生産農家への復興のための補助金は考えられないのか。

(答) 支援策については、市場を運営するJAはまゆうを中心に、協議検討している。

大阪府の教育基本条例構想について

(問) 橋下前府知事のこの構想は、教育維新かそれとも暴挙か。市長はどちらと考えるか。

(答) 教育行政の中立性、継続性、安定性等の観点から、今後、慎重に議論すべきと考え、コメントは控えたい。

(問) 府議会での「政治が教育に介入してはならない」ということが余りに聖域化され、そのため民意が反映されていないのではないのか」という趣旨の質問をどう思われるか。

(答) 決して、学校教育は、民意に対して耳をふさいでいるとは思っていない。むしろ、民意を反映させながら、推し進められていると考えている。

心の健康対策について

(問) 精神保健問題において、家族をはじめとする介護者を対象とした家族支援専門員制度を創設できないか。

(答) 国が23年度に創設したモデル事業の「精神障害者アウトリーチ推進事業」を基本に障害者本人とその家族を支える訪問支援の一般制度化を目指しているので、当面、国の施策の動向を注視しながら訪問支援の拡充に努める。

(問) 重度心身障害者医療費助成において、働きたくても雇用先がない精神障がいの方々にも助成できないか。

(答) 厳しい市の財政状況を考慮すると困難な状況であり、まずは、現行制度の安定維持に努めていく。

文化行政について

(問) 平野地区「天翔」のような団体が伝統芸能保存を目指しているが、伝統芸能の育成者等について、どのような施策を実施しているのか。

(答) 本年度は現状を正確に把握するために市内の伝統芸能の実態調査を実施しており、来年度は民俗芸能発表会や用具整備費等を国に要望する。

(問) 図書館運営はどうなるのか。

(答) 市内4つの図書館の充実を図り、地域や幼児から高齢者に至るまで、市民にとって利用しやすく役に立つ図書館づくりをめざす。



社民クラブ

林 一彦 議員



社民クラブ
山本 定則 議員

安心安全な街づくりについて

(問) 防犯灯の設置箇所の少ない所があるが、増加設置の考えはないか。

(答) 自治会の意向を確認し、連携を取り解消に努める。

(問) 河川、側溝等の堆積土の除去を急ぐべきと思うがどうか。

(答) 日常パトロールを強化し効果的かつ効率的な維持管理に努めていく。

(問) 空き家条例の設置を早急にすべきと考えるがどうか。

(答) 制定後の効果、市民生活への影響等の検証を含め検討していく。

(問) 特定健康診査の今後の見通しはどうか。

(答) 医師会の理解と協力を得て周知徹底し、受診率アップに努める。

(問) 旧日南地域にトレーニングルームの建設計画はないのか。

(答) 既存施設再利用を含め検討する。

剪定ゴミの堆肥化について

(問) 堆肥化して再利用し、処理コストの削減を図るべきと思うがどうか。

(答) ゴミ減量化、再資源化に取組み地球環境や生活環境の保全に努める。

中部病院について

(問) 医師確保はどうなるのか。

(答) 新たな医師確保には至っていない、今後も医師確保に努めていく。

防災について

(問) 防災計画の津波対策は、「沿岸地域は、おおむね5分で避難できるまちづくり」を目指している。大津津保育所の園児は安全なのか。

(答) 適切な避難場所がない。今後、園児の安全確保に努める。

(問) 油津小中学校生徒の避難対策はどうか。

(答) 避難場所の見直しとともに、車いすで通学されている生徒の避難方法を見直す。

(問) 風田浜の海岸は、波消しブロックを積み上げる工事が進んでいる。しかし海岸のすぐ近くに、県立くろしお支援学校がある。東日本大震災の教訓は、「生命を守るためには想定外を許さない」ことである。津波から子どもを守るには、防潮堤の整備が重要ではないのか。

(答) 防潮堤の整備が大変重要と思う。県へ要望する。

(問) 日南市総合計画の人口問題について

(問) 国の推計や県の総合計画では、日南市の人口は、20年後も減り続けていると推計している。正しい情報公開が重要ではないのか。

(答) 当市は、3年後の平成26年で人口減少が止まり、その後は人口増加が続くと、市民には説明する。



公明党日南市議団
黒部 俊泰 議員



公明党日南市議団
前田 幸雄 議員

フッ化物洗口の取り組みについて

(問) 11月10日にフッ化物洗口の研修会が、ふれあいセンターで行われた。教育次長が参加されていたの感想はどうか。

(答) 歯科医師会をはじめ、保育所や幼稚園の職員、学校関係者や議員も含め約百名が参加し、フッ化物洗口の有効性などを再認識した。

(問) 宮崎市は、平成23年2月から、一部の小中学校で実施し、平成25年度までに、73の全小中学校が実施を計画している。この取り組みについて、当市は調査をされたのか。

(答) 宮崎市が、実施するまでの2年間の経緯や現状等の情報収集を行った。

(問) 平成23年6月定例会でもフッ化物洗口の質問をしたが、その後の取り組みはどうなっているのか。

(答) 平成24年4月から、検討委員会を設置する。

うつ病対策について

(問) うつ病対策の有効治療法として認知行動療法がある。先進地の沖縄県総合精神保健福祉センター所長などを招いての講演会はどうか。

(答) 今後検討する。

子ども議会について

(問) テーマ(議題)を設定して行うのも一つのやり方と思うがどうか。

(答) 現在はまだ考えていない。

福祉有償運送について

(問) 公共交通機関では利用が困難な人の輸送実態はどうなっているか。

(答) 3事業者が運送事業を行っている。登録者は北郷荘が87人、日南市社会福祉協議会が4人、なお日南福祉運送サービス協議会は事業に新規登録したばかりである。

(問) 困っている方は沢山いるが利用者が大変少ない。使用できる車や利用できる人の範囲が国のガイドブックより本市の基準が厳しいからではないか。

(答) 前提として、公共交通機関を利用することが困難な方々が対象であり、県内では他市より緩やかである。

(問) 小規模工事契約希望者登録制度について

(問) 平成20年から実施されているが、その実績状況はどうか。

(答) 20年度は4件で6万円、21年度は183件で753万円、22年度は223件で1280万円であり、登録は46業者となっている。

(問) 目的や登録の有効期間等を要綱に定め制度の拡充を図る考えはないか。

(答) 業者等から要望も受けている。今後、要綱化に取り組む。

(問) 受注機会を広げるため、インターネット等で情報の公開をすべき。

(答) 今後、検討する。



日本共産党日南市議団
井福 秀子 議員



日本共産党日南市議員
和足 恭輔 議員

家庭用太陽光発電の普及について

(問) 昨年度からの普及促進の取り組みをどう評価しているか。

(答) 平成22年度より取り組んでいる住宅用太陽光発電システム設置補助金に、昨年度101件、今年度102件の申請があり、年度途中で予算額に達した。2年間で0・76%の普及率アップとなった。市内の設置数は649件となり普及率は2・42%となった。自然エネルギー普及促進に向け大きな転換期であったと評価している。

(問) 設置補助金の来年度の予算規模をどう考えているか。

(答) 更なる普及率アップを目指して予算編成の中で十分に検討していく。

住宅リフォーム助成事業について

(問) 業者の切実な要求であり、市内業者全体に希望と活気をもたらす住宅リフォーム助成事業を復活すべき。

(答) 平成24年度の施策の一つとして検討しているところである。

(問) 畜産農家への市の支援策について

(問) 人工授精業務停止により子牛の計画的な生産出荷ができなくなっている。本市も周辺自治体同様、出荷頭数平準化策として、子牛の価格補てんなど、独自の支援策を実施すべき。

(答) 関係機関と協議検討しているところである。

特別委員会の活動報告

このコーナーでは、日南市議会内に設置されている二つの特別委員会の活動状況をお知らせいたします。

議会改革調査特別委員会

議会改革調査特別委員会では昨年の12月まで、9回にわたって委員会を開催し、議会改革に関するさまざまな事項について活発に議論を重ねております。

まずは市民の皆様が開かれた議会を今以上に推進していくため、12月定例会からインターネットを利用した議会放映もスタートいたしました。

今後は、議会基本条例等の制定に向け、先進自治体の調査研究や議員同士の活発な議論を十分に行ってまいります。



第9回委員会開催のようす

地域振興対策調査特別委員会

地域振興対策調査特別委員会では、去る11月24、25日に民主党、国土交通省九州地方整備局、国土交通省などに対し、東九州自動車道の早期整備及び国道220号の整備等について要望活動を行いました。

また、去る12月22日には、建設水道委員会と合同で東九州自動車道芳ノ元トンネルの現地視察を行いました。



国土交通省での要望活動のようす



芳ノ元トンネルの現況について説明を受けました

総務文教委員会 行政視察報告

■岩手県一関市

- ・自主防災組織について
- ・議会基本条例について

自主防災組織については、一関市が抱えている課題などの説明があり、その課題解決のための実施している対策について説明がありました。

また、議会基本条例については、制定までのいきさつや、条例の周知に関する課題などをお聞きすることができました。



一関市での研修のようす

■宮城県気仙沼市

- ・震災被害の状況及び避難所運営等について

本市と漁業関係で縁のある気仙沼市は東日本大震災の津波で大きな被害を受けました。委員会では、被災の状況や避難所運営について説明いただきました。



被害を受けた気仙沼漁港

■宮城県名取市

- ・災害時要援護者支援制度について
- 名取市は仙台市に隣接しており、東日本大震災でも大きな被害を受けました。今回は、災害時における要援護者の支援制度について、震災時の状況も交えて説明いただきました。



名取市での研修のようす

厚生委員会 行政視察報告

■広島県呉市

- ・国保医療費対策等について

呉市は、国保の医療費適正化対策に力を入れており、ジェネリック医薬品の使用推進のための事業や糖尿病などの生活習慣病への対策として、訪問指導に積極的に取り組んでおり、詳細な説明をいただきました。



呉市での研修のようす

■香川県綾川町

- ・国保陶（すえ）病院の運営状況について

陶病院は、全国の公立病院の中でも数少ない経営黒字を達成している病院であり、運営の状況について説明をいただきました。特に、医師の確保対策の取り組みについても、活発な意見交換を行うことができました。



陶病院の診察待合室

■香川県丸亀市

- ・子育て支援対策について

丸亀市では、子育てハッピープランや発達障がい児相談支援事業、子育てホームヘルプ事業など、子育て支援に力を入れた施策を展開されており、各事業の実施状況について、説明をいただきました。特に、NPO法人との連携などにも力を入れているとあります。



丸亀市での研修のようす

産業経済委員会 行政視察報告

■香川県小豆島町

・オリーブ植栽、加工について

小豆島町は小豆島・内海町オリーブ振興特区の指定を受けて、オリーブの栽培、加工品の生産に精力的に取り組まれております。特に、栽培については遊休農地を活用するなど、さまざまな施策を展開されており、オリーブの6次産業化についても、説明いただきました。



オリーブの栽培等について説明を受けました

■大阪府高槻市

・バイオマスタウン構想バイオコークス事業について

高槻市ではかねてより、環境基本条例、環境基本計画、地域新エネルギービジョンなど積極的に取り組まれてきております。その中で、バイオマス利用を通じて地球温暖化防止に貢献することや、木質ペレットを利用したバイオコークスを核とする

ことで、整備された森づくりによる防災対策などを目指し、バイオマスタウン構想が策定されております。研修では、バイオコークスの加工場を視察するとともに採算性やコスト等についても説明をいただきました。



バイオコークス加工場にて

■京都府京都市

・農作物の市場調査について

京都市では、中央卸売市場において、農作物の市場調査を行いました。卸売市場の概要について説明があったあと、宮崎県産農作物の価格動向等について説明いただきました。



中央卸売市場にて

建設水道委員会 行政視察報告

■富山県高岡市

・PFI導入による市営住宅建設について

高岡市では、PFI方式による市営住宅建て替え事業について研修を受けました。コスト削減効果が期待できるものの、事業期間やその他の手続きなどの面での課題など、説明いただきました。



PFIで建設された市営住宅

■富山県砺波市

・都市計画マスタープランの策定について

砺波市では、都市計画マスタープランの策定について、研修を受けました。計画の実施における課題については、社会情勢や市民ニーズの変化に対応していく必要があるとのことでした。



砺波市での研修のようす

■石川県白山市

・都市計画マスタープランの策定について

白山市でも、砺波市と同じく都市計画マスタープランの策定について説明をいただきました。プラン策定にあたって、市民の皆様から出された意見の内容や、それに対する市側の対応等について、説明がありました。



白山市での研修のようす

議会日誌

(10月から12月・抜粋)

- 10月 4日 総務文教委員会、産業経済委員会行政視察（6日まで）
- 12日 厚生委員会、建設水道委員会行政視察（14日まで）
- 16日 飫肥城下まつり（パレードに参加）
- 18日 地域振興対策調査特別委員会要望活動（宮崎県、宮崎河川国道事務所）
- 25日 決算審査特別委員会各分科会審査（27日まで）
- 11月 8日 兵庫県小野市議会が行政視察のため来訪
大阪府富田林市議会が行政視察のため来訪
- 10日 福島県喜多方市議会が行政視察のため来訪
- 14日 宮崎県市議会議長会議員研修会（宮崎）
- 18日 議会改革調査特別委員会
- 21日 議会運営委員会
地域振興対策調査特別委員会
- 24日 地域振興対策調査特別委員会要望活動
（宮崎、福岡、東京 25日まで）
- 28日 決算審査特別委員会全体会議
第7回定例会開会
- 29日 本会議
予算審査特別委員会全体会議
- 12月 6日 一般質問（9日まで）
議会運営委員会
- 9日 予算審査特別委員会全体会議
議会改革調査特別委員会
地域振興対策調査特別委員会
- 12日 委員会審査
議会運営委員会
- 13日 議会だより編集委員会
- 16日 第7回定例会閉会



本会議は、簡単な手続きで誰でも傍聴することができます。

ぜひ、生の議会を見に来てください。

■平成24年第1回(3月)定例会の予定■

- 2月27日 開会、本会議（現年度分提案）
委員会審査（現年度分）
- 28日 委員会審査（現年度分）
- 29日 本会議（現年度分採決、新年度分提案）
- 3月 1日 本会議（質疑）
- 8日 本会議（一般質問）
- 9日 本会議（一般質問）
- 12日 本会議（一般質問）
- 13日 本会議（一般質問）
- 14日 委員会審査（新年度分）
- 15日 委員会審査（新年度分）
- 19日 委員会審査（新年度分）
- 22日 閉会

※日程はあくまで予定であり、議事の都合により変更になることがあります。



平成24年が始まりました。昨年は東日本大震災が発生し、東北地方を中心に甚大な被害を受けました。そのようななか、あらためて人と人との「絆」の大切さを考えさせられた一年となりました。

市議会では、議員定数削減問題を機に、定数を30から22に削減する議員定数条例を制定し、12月定例会より議会インターネット放映を開始するなどの改革に取り組んできました。

今年も、議会基本条例制定への取り組みなど、市民から信頼され、開かれた議会をさらに進めていくため、精力的に取り組んでまいります。

議会だより編集委員会

《編集後記》